

第7回 昭和の森親子田んぼ教室

草 取 リ

山田益弘（千葉市）

日 時：2018年6月24日（日）9:30～12:00

参加者：22名（大人11名 子ども11名）10家族

担当指導員：佐野由輝、武田宏子、花島伸美、山下美佐子、山田益弘

千葉市緑公園緑地事務所長

小雨の中で7年目、昭和の森畠で親子田んぼ教室草取りです。「田んぼの雑草」はイネが吸う栄養を奪ったり、太陽の日差しを遮ったりして成長を悪くします。美味しいお米を作るため、雑草を抜いて肥料にする事が必要です。田んぼの土は柔らかく、みんな手も足も泥だらけになりながら、根っこまで抜き取り、土の中に手や足で埋め込みました。

4月に植えたイネの高さは20cm、と3株。が2ヶ月弱で平均18株、高さは61cmにも成長していました。雑草を種類分けし、どの雑草が一番多かったかな？ またどんな特徴があるかな？ 等から子どもたちはマコモをサトウキビ、ヘラオモダカをチングンサイ、ヒルムシロやコナギをホウレンソウ、と名付けて多いに盛り上りました。田んぼ雑草の特徴を観察することで、草取りの重要性を認識出来たと思います。

子どもたちが採取した雑草：セリ、イ、スギナ、ケキツネノボタン、ミズソバ、ドクダミ、ヒルムシロ、イボクサ、ヨモギ、マコモ、コナギ、ヘラオモダカ等たくさんの種類の草取りをしました。

草取り後田んぼの生き物観察です。網を持って水辺の生き物探しです・・・。ヤゴから出たばかりのオオシオカラトンボの羽化も観られ、たくさんの生き物を観察でき、子どもたちも大喜びでした。

今日見られた生き物：カワニナ、ヒメアメンボ、シマアメンボ、マツモムシ、ヤゴ、メダカ、シュレーゲルアオガエル、二ホンアカガエル、二ホンアマガエル、カマキリ、ノシメトンボ、ゴミムシ等です。



雑草取りをして種類分け



子カエルやアメンボをたくさん観察